

高齢者介護の持続可能性 (1)

介護職員の働きがいの研究



2024 年度調査実習報告書

名古屋大学文学部社会学研究室

目次

はしがき	iii
第Ⅰ部 分析篇	1
1章 日本における介護サービスの需給と地域差 (李恩河)	3
2章 名古屋市における介護サービスの現状 (宮崎啓輔)	15
3章 なぜ介護職を選び、そして続けるのか——介護の持続可能性に関する考察 (岡本蒼太)	29
4章 介護職員のキャリアにおける資格取得の意味 (岡野希星)	37
5章 介護職員のキャリア意識——有料老人ホームと特別養護老人ホームの比較 (江佳影)	51
6章 介護職員の働きがいと介護の持続可能性——感情労働論の視点から (丸山里桜)	61
7章 介護職員の給与水準と職務満足度 (森陽菜)	71
8章 介護職員の熟練と利用者の暴力・暴言への対応 (松島美月)	81
9章 コロナを糸口に見る介護施設の職場環境 (平松優里)	89
10章 介護の職場におけるインフォーマルな人間関係 (判治すみれ)	99
11章 介護職マザーのワークライフバランス (ハサビル・アフィーフ)	109
12章 若年介護職員の未婚率に関する分析 (莫詩華)	119
第Ⅱ部 インタビュー調査の記録	133
インタビュー対象者一覧	134
有料老人ホーム (Aさん～Jさん)	135
特別養護老人ホーム (kさん～sさん)	203

はしがき

高齢者介護は、高齢期のウェルビーイングを左右する社会制度である。現在の高齢者（私たちの親や祖父母の世代）だけでなく、高齢者の家族や、将来の高齢者とその家族（私たち）も含めたすべての人に関わりのある重要な制度だ。高齢者介護の質は、介護サービスを現場で担う介護職員の働きにかかっている。介護職員が気持ちよく働けなければ、介護サービスの質は担保できなくなる。介護の仕事がディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事。ILO の標語であり、SDG8 にも入っている）でなければ、介護職員が困るだけではなく、上に述べたすべての人が困ることになる。ディーセントワークとは、たんに給与や労働条件が保障されているだけでなく、働きがいを感じられる仕事ということである。

日本には、高齢者介護の費用を社会全体で支える仕組みとして介護保険がある。介護保険のおかげで、介護を必要とする高齢者は実際より少ない費用でサービスを利用できる。もし介護保険がなかったら、介護サービスを受けられない人や、親の介護のために仕事を辞めなければならない人が続出し、今より不平等で不公平な社会になるだろう。だから介護保険は重要なのだが、介護職員の給与は、介護保険が定める介護報酬と連動している。国民からすれば介護保険料は安いほうが助かるし、介護サービス事業者は限られた介護報酬から介護職員の給与を割り出さなければならない。一方、後期高齢者の急増と介護を担う現役世代の急減が予想されるなかで、介護職員の待遇改善が急務となっている。

高齢者介護の持続可能性を占うためには、まず介護の仕事がディーセントなものになっているか否かを知る必要がある。近年、介護に関する研究は増えてきているものの、工場やオフィスなどを対象とした労働研究に比べると、介護の職場における熟練や働きがいに関する研究はまだまだ手薄である。そこで、名古屋大学文学部社会学研究室の 2024 年度の社会調査実習は、「介護職員の働きがい」をテーマに掲げた。SOMPO ケア株式会社が名古屋市内で運営する介護付有料老人ホームのうち 3 施設の介護職員 10 名、および、社会福祉法人なごや福祉施設協会が名古屋市内で運営する特別養護老人ホームのうち 3 施設の介護職員 9 名の方々にお願ひし、2024 年 8 月にインタビュー調査に応じていただいた。

詳しい分析は本文に譲るが、私にとって大きな発見だったのは、介護施設は感謝と承認に満ちた人間らしい職場だということ、外からは気づきにくい事実である。特別養護老人ホームの介護職員の n さんは、次のように語って下さった。「些細なことで、お外を見せたり、着換えをしたりなどのことで、拝むような姿勢でありがとうと言われる時にキュンとします。そんなにありがとうと言ってもらうことでもないんだけど、という内容の時が一番疲れが飛びますね」。給与や労働条件の保障が前提であるのは言うまでもないが、それに加えて、介護の仕事のこうした魅力を感じられる職場の余裕が失われることのないようにしたい。介護報酬の改定に際しても、そうした配慮が求められるだろう。

調査に応じて下さった SOMPO ケア株式会社と社会福祉法人なごや福祉施設協会、何よりもお忙しいなか貴重なお話を聴かせて下さった介護職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。本報告書の各章には推論の誤りや展開不足の箇所もなお残されているが、ここまでやり遂げた 12 名の実習参加者に拍手を送りたい。

2025 年 3 月 13 日 上村 泰裕

高齢者介護の持続可能性 (1)
——介護職員の働きがいの研究
2024年度調査実習報告書

2025年3月31日 印刷・発行
名古屋大学文学部社会学研究室
464-8601 名古屋市千種区不老町 780
e-mail kamimura@nagoya-u.jp